

きたきゅ~ 北Qみらい NO.9

通巻第51号



[発行]
〒806-0021
北九州市八幡西区黒崎3丁目15-3
コムシティ5階
北九州市立聴覚障害者情報センター

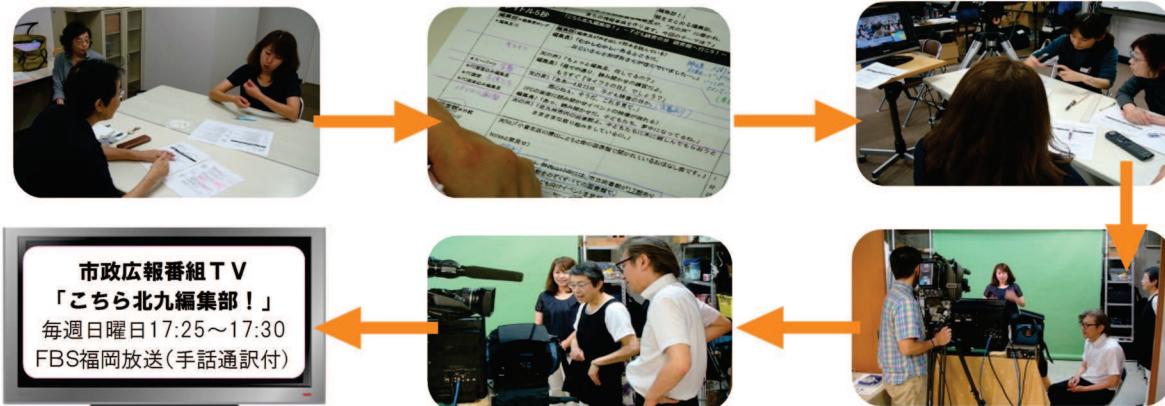
[連絡先]
TEL 093-645-1216
FAX 093-645-3335
E-mail kitakyu-video@wel-tobata.jp



情報1:市政テレビ「こちら北九編集部!」聴覚障害者も手話通訳者

今まで、テレビ通訳といえば健聴通訳者の出演が主流でしたが、私個人的には「ろう者の手話表現がしっくりくるのになあ」との想いがありました。そんな矢先、情報センターの取り組みの中で、ろう者の出演が実現化して、本当に喜ばしいことでした。が、試行ということで私が出ることに…(;) 音声が聞こえないため、原稿全文を覚える方法で番組の構成を覚え、情報センターの職員に原稿の編集、音声タイミング、画面の切り、音声の速さなどを教えてもらいながら練習を繰り返しました。本番の撮影では緊張して間違えないように通訳するのに精一杯でしたが、通訳の仕事は大変で、伝える難しさを初めて思い知りました。

耳が聞こえない故に「無理」「できない」と決めつけるのではなく、いろいろと工夫をすればできるし、今後も健聴通訳者との協同作業で邁進したいと考えています。TV出演したい方、興味がある方がいましたら是非挑戦してみてください。 山口恵美子（聴覚障害者）。



Q.手話通訳のワイプを入れるにあたって、取材時及び編集時に苦労したことがありますか？また感じたことはありますか？



制作部ディレクター
松石 哲弥 氏

取材時、カメラマンには右下に手話が入る旨を伝え撮影に臨んでいます。

被写体の大事な部分が右下にあると、全体的に右を開け左寄りに撮影するのですが、右上が何もない状態になるため斜めに撮るなどの工夫をしています。1画面に4分割の映像を入れる際、右下の映像は手話で隠れてしまうため、その点では画面作りには苦労します。編集時でいうとスーパー（テロップ）が通常1行で済むものが、右下に手話があるため2行にしたりします。また文字数が多くなると通常1画面で済むものも2画面に分けて表示することになります。その際、表示秒数も半分になるため視聴者が読めているのかと不安に感じることもあります。

Q.聴覚障害者が手話撮りをして感じたことはありますか？

正直最初にお話を頂いた際は、不安でした。果たして本当にできるのだろうかと…。しかし、実際撮影をしてみるとスムーズで問題なく撮影は終了。そして、はっとさせられる出来事がありました。撮影当日、持てこられた台本にはたくさんの書き込みなどがあり、努力と練習、時間を増やして頂いているのだなと感じました。聞こえない分、すべてを暗記しないといけないため、その労力は大変なものだと思います。

そして、感情豊かに表現される手話通訳を見たとき自分にはどこか偏見があったのかもと感じました。私たちは、見ながら聞きながらと曖昧な感じでテレビを視聴していると思います。しかし、聴覚障害の方は見て得られるものがすべてなので、私たちより理解し、また違った何かが見えているのかもしれません。番組では、手話通訳の方がその良き表現者、発信者であってほしいと思います。

報告1：全国聴覚障害者情報提供施設協議会 総会及び大会



去る6月3日、4日、山口市湯田温泉にて、平成27年度総会及び第11回大会が開催されました。総会終了後の大会では、「地域生活支援事業における意思疎通支援の今後」と題して基調講演及びシンポジウムがあり、厚生労働省、全日本ろうあ連盟、全日本難聴者・中途失聴者団体連合会という各立場での課題や今後のビジョン等、討論されました。

翌日のブロック会議（九州）では、各施設の課題や情報提供施設の中での中途失聴・難聴者の支援の在り方について話し合いました。

難聴者の場合、聞こえの回復（聴覚保障）に対する思いが強く、情報提供施設に来所される難聴者に対して、きちんと情報提供を行える施設が少ないという事から、補聴器等の学習を兼ねた難聴者への情報提供を目的に、九州ブロック研修会を12月に大分で開くことになりました。

北九州でも、難聴者・中途失聴者協会のご意見を伺いながら、一緒に考えていきたいと思います。

報告2：北九州市視聴覚障害者(児)支援連絡会

平成27年6月12日(金)

この支援連絡会は、視覚・聴覚障害者（児）の教育から就労までを見据えて相談支援体制の整備、連携を図るため、毎年小倉聴覚特別支援学校と北九州視覚特別支援学校の交互の開催で、今年は小倉聴覚特別支援学校で開催されました。

聴覚障害関係の分科会では、北九州市立総合療育センターの言語聴覚士の方と小倉聴覚特別支援学校の方からの事例発表がありました。

回を重ねるごとに関係機関の参加が増えてきているので、他機関と連携しながら対応できればよいと思います。



予告1：平成27年度 字幕ボランティア養成講座 開講予定



10月1日～11月19日（全8回）毎週木曜日午後1時半から3時半（初回のみ1時半～3時）で、聴覚障害者のための字幕ボランティア養成講座を開催します。定員は10名で、応募者多数の場合は抽選となります。

字幕ボランティアとは、聴覚障害者のために、テレビ番組や自主制作等の映像に字幕を制作、挿入する活動を主にしています。講座では、聴覚障害者の「情報保障」に対する知識や理解を深めると共に、音起こし、セリフの要約等の実技も学習します。詳しいことは、9月1日の市政だよりをご覧ください。

情報2：日本語字幕付き上映日

☆『アリのままでいたい』 7月11日（土）公開

字幕付き上映日 7月25日(土)・26日(日)

☆『バケモノの子』 7月11日（土）公開

字幕付き上映日 8月9日(日)・10日(月)・11日(火)

☆『HERO』 7月18日（土）公開

字幕付き上映日 8月16日(日)・17日(月)・18日(火)

☆『ポケモン・ザ・ムービーXY「光輪の超魔神フーバ』

7月18日（土）公開

字幕付き上映日 8月16日(日)・17日(月)・18日(火)

※上映実施日はホームページを検索してください。

◆お問い合わせ

T・ジョイリバーウォーク北九州

〒803-0812

北九州市小倉北区室町1-1-1
リバーウォーク北九州デコシティ4F

◆連絡先

TEL:093-573-1569

FAX:093-573-1653

◆MAIL

kitakyushu@t-joy.net

報告3：北九州市盲ろう者ガイドヘルパー養成講座**平成27年6月4日(木)**

「盲ろう者通訳・ガイドヘルパー」は、視覚と聴覚の両方に障害のある方に通訳・介助をすることで、社会参加を支援する皆さんです。平成27年度のこの講座に、もう一度しっかり勉強したいと現役登録者10名、新規受講者10名の合計20名が6月から受講しています。

10月まで16回講座で触手話をはじめ接近手話、筆記、点字、手書き文字など、あらゆるコミュニケーション方法をマスターしていきます。さらに盲ろう者を安全にガイドできるようにプロの歩行訓練士から移動介助技術の実技講座を受けるなど、内容の充実した講座になっています。修了後の皆さんの大いなる活躍が期待されています。

報告4：盲ろう者交流会 田尻苑**平成27年 5月31日(日)**

5月31日(日)の交流会は福岡市西区にある「聴覚・言語障害者 養護老人ホーム 田尻苑」を訪問しました。盲ろう者7名、盲ろう者通訳・ガイドヘルパー他13名の計20名が戸畠駅前に集合。市のリフトバスで久しぶりのバスツアーです。

途中、糸島市二丈町の「きららの湯」で豪華な「きらら膳」の昼食を堪能。目的地「田尻苑」には午後1時すぎに到着しました。

皆、施設訪問にわくわく期待に胸ふくらませ、高齢聴覚障害者に配慮した様々な設備等に感心しながら入所者の体験談などを真剣に聞いていました。また北九州から入所した懐かしい友との再会を果たし、大いに昔話に花が咲き笑顔の楽しい交流会となりました。

**報告5：ふれあいの会 芦屋自衛隊見学****平成27年 6月17日(水)**

6月17日(水)昨年に引き続き、航空自衛隊芦屋基地（遠賀郡芦屋町）の見学を行ってきました。今回は、昨年定員を超してしまい、行けなかった聴覚障害者21名と、盲ろうボラ・要約ボラ、職員を含め総勢28名の第2班です。前半は芦屋基地内にある参考館（展示室）で、基地の沿革や展示されている一式戦闘機「隼」II型模型などを見学しました。また、敬礼の仕方を教えてもらい、帰るまで男性陣は度々敬礼をしていました。意外にも女性陣は展示物であるパイロットヘルメットを装着して写真を撮っていました。その後は芦屋基地のバスに乗り換え広い敷地を移動し、航空事故発生時に出動する救難捜査機や救難救助機の説明を聞き、実際に飛行機の側まで行き、操縦席の中も見せていただきました。

お昼は隊員さんと同じランチをお腹いっぱいおいしく戴きました。午後からは、パイロット養成練習機T-4の説明を聞き、最後は売店で自衛隊グッズなど購入し、隊員さんの敬礼に送られ帰路につきました。

今回、見学の最後に芦屋基地のみなさんに、災害時の出動の際には聴覚障害者もいることを覚えておいてくださいとお願いしました。自衛隊の方からは、『助けて』の声が出せなくても、近くの物を叩いたり笛を吹いたりして音を出して知らせることが大切ですよと言われました。「自助・共助・公助」を改めて考えさせられた芦屋基地の見学でした。

報告6：派遣事業の件数 出一タ (専任手話通訳者、盲ろう者通訳・ガイドヘルパー、要約筆記者)

専任手話通訳者			
	個人	団体	計
4月	321	3	324
5月	253	12	265
6月	264	10	274
総計	838	25	863

盲ろう者通訳・ガイドヘルパー			
	個人	団体	計
4月	12	2	14
5月	14	0	14
6月	15	0	15
総計	41	2	43

	OHP/OHC	PC	ノートテイク	計
4月	8	1	8	17
5月	3	2	16	21
6月	3	3	14	20
総計	14	6	38	58



ビデオ制作のコーナー



紹介:DVD新入荷 なつかしい昭和の邦画とアニメを見ませんか?



予告2:CS放送「目で聴くテレビ」番組(8月18日放送予定) ただいま 制作中



CS放送「目で聴くテレビ」つづらうらは今年8月の番組を担当します。内容は「輝く笑顔!~ポジティブに生きる高木里英さん~」。北九州市立西小倉小学校に勤務している高木さんと、周囲の方々との関わりを取り材し、小倉城やリバーウォーク外観などをも加え、編集しています。(YouTube配信とも公開予定。)



お知らせ:巡回ライブラリー訪問日

- ◆小倉聴覚特別支援学校 (貸出日) (返却日)
 - 第2回目 = 平成27年10月14日(水) → 10月28日(水)
 - 第3回目 = 平成27年11月18日(水) → 12月2日(水)
 - 第4回目 = 平成28年2月3日(水) → 2月17日(水)
- ◆浅川小学校 耳の教室
 - 第2回目 = 平成27年9月4日(金) → 9月17日(木)
 - 第3回目 = 平成27年11月6日(金) → 11月20日(金)
 - 第4回目 = 平成28年2月19日(金) → 3月4日(金)
- ◆八幡小学校 耳の教室
 - 第2回目 = 平成27年10月2日(金) → 10月16日(金)
 - 第3回目 = 平成27年11月27日(金) → 12月11日(金)
 - 第4回目 = 平成28年1月29日(金) → 2月12日(金)



編集後記:贈ることば

貸出状況の出一タ

CS放送「目で聴くテレビ」の番組制作で、聴覚障害のある女性が、大勢の聞こえる人のいる職場の中で、どうすれば「聴覚障害」というものを受け入れてもらえるか、その奮闘記にスポットをあてた。

手話や筆談をいかに身近に感じてもらえるか、自分自身のコミュニケーション方法を主張しながら工夫をこらして頑張っている姿が、とてもすばらしかった。

ある、ろう学校の高等部卒業生パーティの日、担当の先生の送辞で「社会人に出て頭がいいよりも、皆から好かれるような人間になってほしいと…それだけです。」とメッセージがあった。自分もそうありたいと思った。

	貸出人数	貸出本数
4月	5	14
5月	13	36
6月	15	34
総計	33	84